



ぎおんばら

目指す児童像

- 健康で明るい子(たくましく)
- 進んで学ぶ子(かしこく)
- 心の豊かな子(なかよく)

笑顔かがやく学校(挨拶・安全・つながり・チャレンジ)

令和6年9月30日発行

発行者 星野 良子



◆充実した毎日を

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋…。多くの言葉で表される秋。何をするにも気持ちのよい季節となりました。感染予防対策を継続しながら、子ども達には充実した学校生活を送ってほしいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

5・6年生 消費者教育講座 9月9日

9月9日(月)消費者教育講座が、5・6年生を対象に行われました。「契約って何だろう?毎日の生活の中で考えよう」という題名で下野市消費者生活相談員の鈴木様に講話をしていただきました。欲しかったゲームソフトが今日なら500円引きで買えるが、どうするかという質問に対して、家の人と相談してから決めると答えていました。口約束でも契約したことになってしまうということを知り驚いていました。



図書室飾り付けボランティア 9月11日

9月11日(水)お昼休みに図書館飾り付けボランティアの皆さんが来校しました。図書室を秋の季節に模様替えしました。ありがとうございます。読書の秋にぴったりの図書室になりました。



下野市立学校音楽祭 9月21日(土)

「下野市立学校音楽祭」が自治医大地域医療情報研修センターを会場に開催されました。昨年度に引き続き市内の学校が集まり発表をしました。祇園小からはミュージッククラブが参加しました。心温まる素敵な演奏でした。他校の素晴らしい演奏も聴くことができました。石橋高校もアトラクションゲストとして参加してくださいました。実行委員の皆様、大変お世話になりました。



下野市新聞の日

9月17日(火)

学力テストのアンケートの「新聞を読んでいますか」の回答でほぼ毎日読んでいる人の割合は全国や栃木県の平均よりも高かったです。といっても6~8%だけでした。新聞の日を大切にして、社会情勢などに興味を持てるようにしていきたいと思います。



教職員研修 教職員も日々研鑽

○初任者正式訪問

9月13日(金)

今年度採用された高橋先生の学校の様子を県教委指導主事、下野市教育委員会から教育長・管理主事の先生方が視察されました。4年生の算数の授業「3位数÷2位数の筆算のしかたをかんがえよう」の授業を行いました。しっかり理解して計算できた4年生も頑張りました。



○小中教員相互乗り入れ授業

9月11日(水)

南河内第二中 本江先生



算数科 6年1組 「一筆書きができるか」
2組 「変えるか変えないか」

物事には、何か理由がある。それは、算数・数学を勉強していけば分かることがある。これから学んでいく楽しみが湧き出す授業をしていただきました。

○S&U 研修会

9月18日(水) 5年 国語「たずねびと」

9月18日(水) S&U コラボ授業研究会を行いました。

宇都宮大学共同教育学部神田先生、下野市教育委員指導主事佐々木先生をお招きして、ご指導をいただきました。

5校時に5年1組赤羽先生の国語「たずねびと」の研究授業を行い、その授業をもとに研究会を行いました。



学校保健給食委員会 9月12日(木)

9月12日(木) 13時20分から会議室において学校保健給食委員会を開催しました。学校医、薬剤師、二中区養護教諭、PTA 代表の皆様にご参加いただきました。本校の保健・給食・体育委員会代表児童から活動の様子を報告させていただき、児童の質問に答えていただいたり、健康教育全体について話し合ったりしました。お忙しい中ありがとうございました。



- ・感染症は重症度は下がってくるが、蔓延しやすくなっている。
- ・立腰は朝だけでなく何度も意識をするとよい。
- ・毎日の生活の中で歩く習慣を付けるなど疲れにくい体を作る。
- ・力をかけると歯は動くので「くせ」になっていることに注意。
- ・歯磨きは時間でなく、しっかりフロスを使ってきれいにするまで。
- ・強度の近視になると病気のリスクが高くなる。きちんと見える状態にしておくことが大切。

・プロテインをのんでも良いが、まず3食しっかり食べることが大切。プロテインは筋肉の材料なので筋肉を作るためには運動も行うことが必要。

3年生 工場見学 9月20日(金)

9月20日(金) 3年生がコニシボンに工場見学に行きました。自分たちの住む地域の工場を見学し、工場内の様子や生産方法、仕入れ先などの理解を深めました。また、工場で働いている人の様子を見学し、努力や願いについて知ることもできました。



秋の全国交通安全運動

9月21日(土)～30日(月)

毎日子ども達の安全を見守っていただいている保護者、地域の皆様にご感謝申し上げます。「必ず止まって左右を確認して、手を挙げて横断歩道を渡る」が当たり前でできる子どもを育てていきたいと思います。ご協力をお願いします。